自 動 車 盗 難 警 報 装 置

(SS-100)

取付け・取扱説明書／保証書

この度は、「守護神（SS-100）」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
尚、お読みになられた後も、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

⚠ 注意

本製品は、車体への衝撃や電圧変化を感知し警報を行う装置です。車上ねらい、車両盗難等への防犯効果は多大ですが、盗難防止機ではありません。本製品の作動の有無にかかわらず車両盗難、車上ねらい、車両へのイタズラ等が発生しましても、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

COMTEC

■目次・ご使用上の注意

●目　次

■ご使用上の注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
■守護神（SS-100）について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
■各部の名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
■取付け方法
　◇接続時の注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
　◇配線図・ボディーアース ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
　◇電源検出orA-03配線 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
　◇ホーンリレーについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
　◇ホーンリレー配線 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
　◇常時電源配線・各コネクターの接続 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
　◇メインユニットの固定・フラッシャーユニットの固定
　　アンテナの配線 ・・・・・・・・・・・・・ 11
■リモコンについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
■電圧検出／感度調整ボリューム ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
■各モードについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
　◇内部振動センサー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
　◇ホーンの長さ設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
　◇ホーンパターン設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
　◇フラッシャーパターン設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
■盗難警報機能について
　◇盗難警報機能（監視モード）をスタートさせる ・・・・・・・・・・・・・ 19
　◇盗難警報機能（監視モード・警報モード）をストップさせる ・・・・・・・・・ 19
■操作一覧表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
■警報パターン一覧表・製品仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
■盗難保険について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

●ご使用上の注意

ご使用の前に、この「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。又注意事項には危害や損害の大きさを明確にする為に、誤った取扱をすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに分けています。

⚠ 警告：警告を無視した取扱をすると、使用者が死亡や重傷を負う可能性があります。

⚠ 注意：注意を無視した取扱をすると、使用者が障害や物的損害を被る可能性があります。

⚠ 警告

○本製品を分解、改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
○運転中は、本製品を絶対に操作しないでください。わき見運転は、事故の原因となります。
○本製品は、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。又、自動車の機能（ハンドル・エアバッグ・アクセル・ブレーキ等）や、エンジンルーム内の機能（ファン・ファンベルト等）の妨げにならない場所に取付けてください。事故・故障の原因となります。
○本製品が万一、破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車の故障の原因となります。
○本製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
○本製品を医療機器の近くで使用しないでください。電波により医療機器に影響を与える恐れがあります。
○本製品を不要に人や動物の近くで作動させないでください。聴覚障害になる恐れがあります。

⚠ 注意

○指定の電池以外は使用しないでください。
○本製品の取付けは、確実に固定してください。固定が不十分ですと誤作動の原因となります。

■守護神（SS-100）について

●主な特長

◆超高輝度LEDフラッシュとホーンの二重警告
車体への衝撃や電圧変化（ドアオープン等）を感知すると、超高輝度LEDフラッシュとホーンによる警告を行います。（超高輝度LEDフラッシュのみの警告も可能）
※・衝撃を1回検出するごとに、ホーンを3回鳴らします。（設定時間×3）
　・電圧変化を検出すると、ホーンを20秒間鳴らします。

◆車体衝撃・電圧変化（ドアオープン等）の二重監視
車体への大きな揺れ（強風や雨等）には反応せず、衝撃に反応する新型振動センサーと、ドアオープン等に反応する電圧変化の検出との二重監視体制。
※取付け車種によっては、電圧検出が使用できない場合もあります。

◆ダブルスイッチ式小型防水リモコン採用
誤作動防止のダブルスイッチ式で、日常生活防水機能の小型リモコンを採用。

◆エンジンスターター・ターボタイマー取付け車対応
従来の盗難警報機と違い、エンジンスターターやターボタイマー作動時による振動や、電圧変化には反応しません。
※一部の製品にはご使用できない場合もあります。

◆リモコンエンジンスターターのリモコンで守護神（SS-100）の操作が可能
弊社リモコンスターター「Be-Time　A-03」のリモコンで守護神（SS-100）の監視モードON/OFFが可能。
※・「Be-Time　A-03」のリモコンでは、各種の設定等は行なえません。
　・「Be-Time　A-03」のアンサーバック機能は、守護神（SS-100）にはありません。

◆環境記憶システム採用で、誤作動が大幅に減少
「監視モード」時、常に車両の状態（風等の揺れ）を記憶し、それ以上の大きな衝撃・振動を感知した時のみ警告を行うシステムですから、誤作動による警報が大幅に減少します。

◆豊富なオプションで、車にあわせてシステムアップが可能
SS-010　外部ホーン
　ホーン配線の難しい車両に最適。

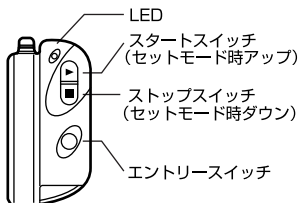
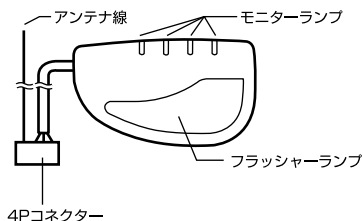
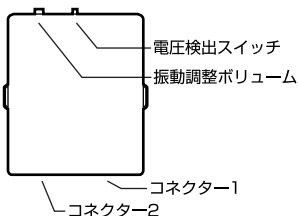
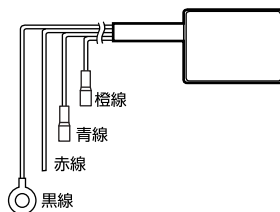
SS-020　拡張振動センサー
　RV・ミニバン等車体が大きく車両後部の振動検出ができない車に最適です。

SS-030　トランクセンサー
　トランクを開けると反応します。

◆超高輝度LEDによる威圧的な監視モード
超高輝度LEDが、スウィング・フラッシュ・点滅・ランダムの4通りの威圧感ある監視モードで犯罪を未然に防ぎます。

■各部の名称

（　）内の数字は、個数を表します。

■リモコン（1）

■フラッシャーユニット（1）

■メインユニット（1）

■ホーンリレー（1）

■電池CR2016（2）

（リモコン内にセットされています）

■調整ドライバー（1）

■エレクトロタップ（4）

■インシュロック

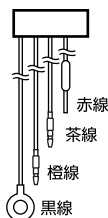
（ロング×1
ショート×2）

■コードクランプ（3）

■盗難防止ステッカー（1）

■両面テープ

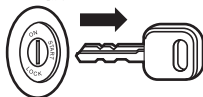
（フラッシャーユニット用×1
メインユニット用×2
ホーンリレー用×1）

■10Pコネクター（1）

■ホーンリレー用延長線（1）

■取付け方法・接続時の注意

⚠ 取付・接続の前に

❶ シフトレバーをパーキング[P]にし、パーキングブレーキを確実にかけます。

❷ エンジンを停止させ、キーを抜きます。

❸ 配線について

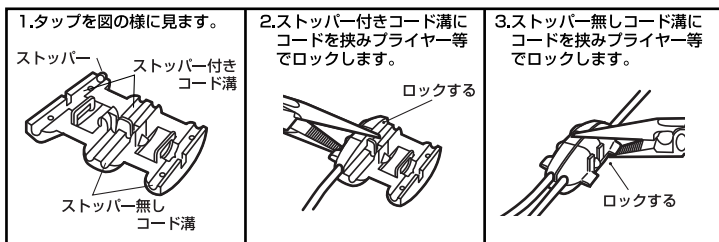
●配線等を収納する際、車の金属部（コラムシフトレバーの付け根、ステアリング可動部、ペダルのスプリング、その他鉄板等）にコード類が接触する場合は、その部分に必ず絶縁テープ等を貼って保護してください。

●取付に必要な工具

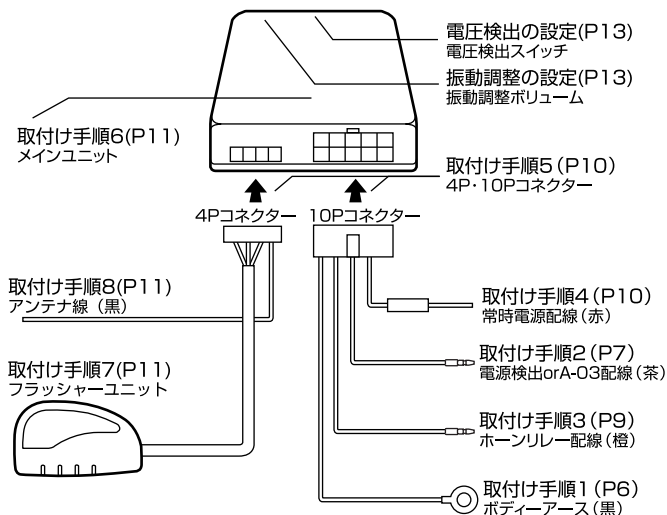
・サーキットテスター
・プライヤー
・カッターナイフ
・ドライバー
・スパナ又はボックスレンチ
・絶縁テープ

☆その他の工具が必要になる場合があります。

●エレクトロタップの使用方法

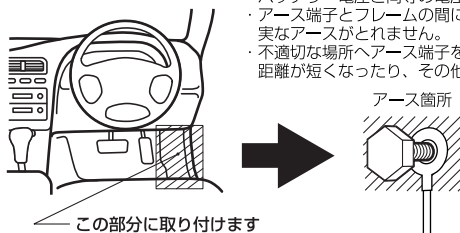
注意　エレクトロタップで接続後、安全の為に必ず絶縁テープを巻いてください。

■取付け方法 ・配線図 ・ボディーアース

◆守護神（SS-100）配線図

※取付け手順に従って、取付け作業を行ってください。

◆取付け手順1（ボディーアース）

10Pコネクターからでているアース端子（黒コード）を、塗装されていないボディまたはフレームのビスにしっかりと共締めします。

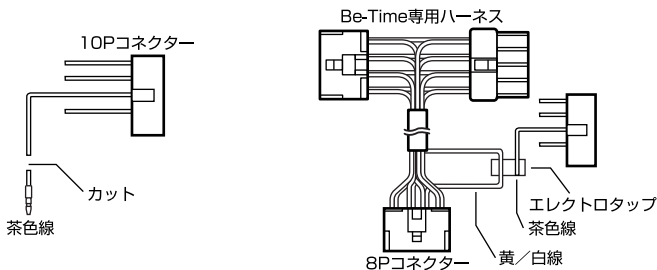
⚠注意

- ・バッテリー電圧と同等の電圧があるか確認してください。
- ・アース端子とフレームの間に樹脂、塗装等があると、確実なアースがとれません。
- ・不適切な場所へアース端子を取付けると、リモコンの飛距離が短くなったり、その他トラブルの原因になります。

■取付け方法・電源検出orA-03配線

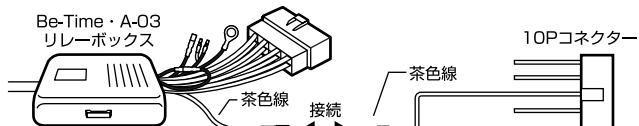
※エンジンスターター・ターボタイマー取付け車種のみ配線を行ってください。

◆取付け手順2（電源検出orA-03配線）

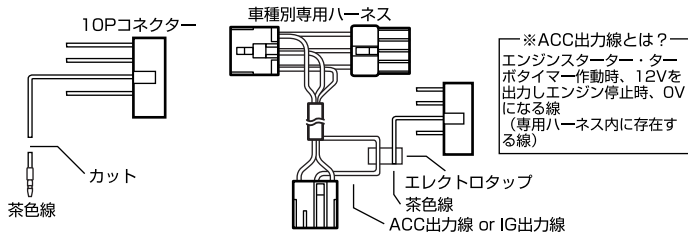
現在ご使用しているエンジンスターター／ターボタイマーによって3通りの配線方法があります。

a　弊社製品のエンジンスターター・ターボタイマー（Be-Timeシリーズ）を取付けている車種。

・10Pコネクターからでている茶色線のギボシ部分をカットする。

・10Pコネクターからでている茶色線と、Be-Time専用ハーネスの黄／白線をエレクトロタップで接続する。

b　弊社製品のリモコンエンジンスターター（Be-Time・A-03）を取付けている車種。

・10Pコネクターからでている茶色線をBe-Time・A-03のリレーボックスからでている茶色線と接続する。

c　他社製品のターボタイマー・エンジンスターターを取付けている車種。

※ACC出力線とは？
エンジンスターター・ターボタイマー作動時、12Vを出力しエンジン停止時、0Vになる線
（専用ハーネス内に存在する線）

・10Pコネクターからでている茶色線のギボシ部分をカットする。

・10Pコネクターからでている茶色線と、車種別ハーネスのACC出力線をエレクトロタップで接続する。（ACC出力線が無い場合、IG出力線）

■ホーンリレーについて

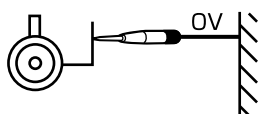
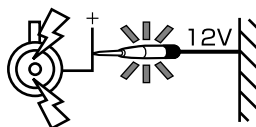
⚠ 注意

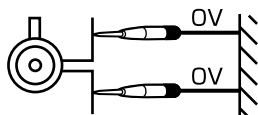
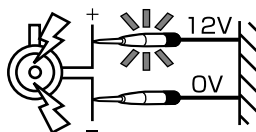
・守護神（SS-100）は、車のホーンを使用する為の配線が必要になります。

・車のホーンは、「マイナススイッチ方式」と「プラススイッチ方式」があります。
下記の方法で、ホーンのスイッチ方式を調べてください。

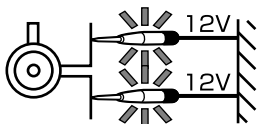
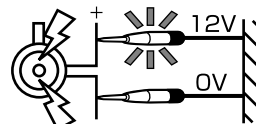
・エアバックの誤作動やその他事故を防止する為、ホーン配線はホーンに直接配線してください。（室内・ハンドルのホーンスイッチ部等には、配線しないでください。）

●プラススイッチ方式

1・車のホーン1ケにつきコードが１本の場合

（1）テスターをホーンのコードとアースに接続しホーン・オフ時0V。

（2）ホーン・オン時12V側が＋コード。

2・車のホーン1ケにつきコードが2本の場合

（1）テスターをホーンのコードとアースに接続しホーン・オフ時は2本共0V。

（2）ホーン・オン時12V側が＋コード。
ホーン・オン時0V側がーコード。

●マイナススイッチ方式

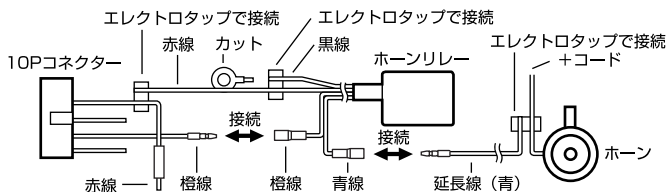
1・車のホーン1ケにつきコードが2本の場合

（1）テスターをホーンのコードとアースに接続しホーン・オフ時は2本共12V。

（2）ホーン・オン時12V側が＋コード。
ホーン・オン時0V側がーコード。

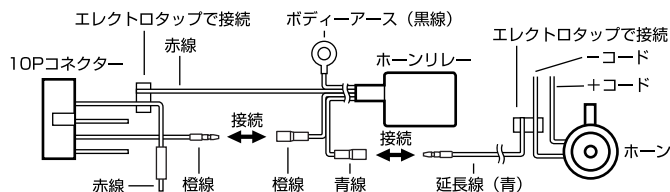
■取付け ・ホーンリレー配線

◆取付け手順3（ホーンリレー配線）

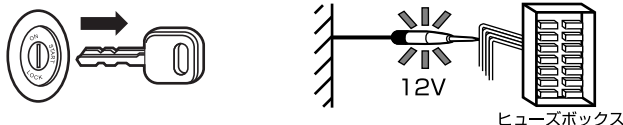
※P8を参照し、取付け車種のホーン配線がプラススイッチ方式か、マイナススイッチ方式かを確認してください。

a　プラススイッチ方式の配線方法

・ホーンリレーからでている黒線の先端端子をカットし、赤線とエレクトロタップで接続する。
・ホーンリレーの赤線を10Pコネクターの赤線とエレクトロタップで接続する。
　※10Pカプラーとヒューズの間に接続する。
・ホーンリレーの橙線を10Pコネクターの橙線と接続する。
・ホーンリレーの青線を延長線（青）と接続し、ホーンの＋コードへエレクトロタップで接続する。

b　マイナススイッチ方式の配線方法

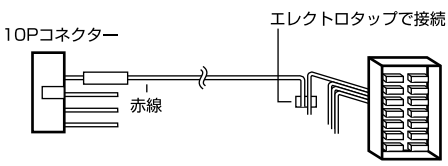
・ホーンリレーからでている黒線を車の塗装されていないボディ又は、フレームのビスにしっかりと共締めする。
・ホーンリレーの赤線を10Pコネクターの赤線とエレクトロタップで接続する。
　※10Pカプラーとヒューズの間に接続する。
・ホーンリレーの橙線を10Pコネクターの橙線と接続する。
・ホーンリレーの青線を延長線（青）と接続し、ホーンの－コードへエレクトロタップで接続する。

●　延長線（青）の配線

エンジンルームと室内の壁面にあるゴムパッキン等に、カッターナイフ等で切り穴を開け延長線（青）を室内側からいれます。

車のホーンまで、延長線（青）を配線します。

■取付け方法 ・常時電源配線 ・各コネクターの接続

◆取付け手順4（常時電源配線）

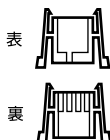
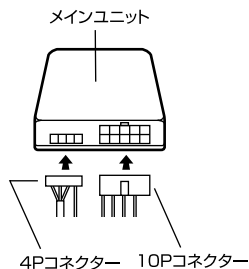
注意　下記取付けは一例です。その他の場所からでも、常時電源はとれます。
※イグニッションキーオフ時に12Vが常時出力されている場所です。

1・常時電源の確認（例）ヒューズボックス裏側の電源線からの配線

・イグニッションキーを抜きます。
・ヒューズボックス裏側等にある線に、テスターを使って常時電源を確認します。

2・10Pコネクターの赤線を配線する。

・「1」で確認した常時電源線と、10Pコネクターの赤線をエレクトロタップで接続する。

◆取付け手順5（各コネクターの接続）

・4Pコネクターをメインユニットへ接続する。
※表面を上向きにして、接続してください。
・10Pコネクターをメインユニットへ接続する。
※10Pコネクターを接続するとフラッシャーユニットが一回点滅します。（電源・アースの確認）

※4Pコネクターの向きに注意してください。
表裏を間違えて差し込むと、コネクターの破損や本体の故障の原因となります。

取付け方法
・メインユニットの固定
・フラッシャーユニットの固定
・アンテナの配線

取付け手順6（メインユニットの固定）

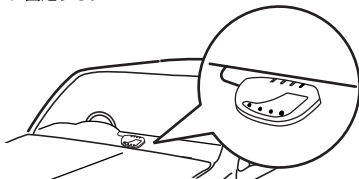
インユニットに両面テープを2個使い、樹脂・金属等の固い面へ水平になるよう確実に固定する。

注意

・メインユニットは水平に固定してください。
垂直に固定すると振動検出感度が鈍くなります。
・電圧検出スイッチが手もと側（操作できる側）になる様取付けてください。
・カーペット等の柔らかい面へ取付けると、衝撃を感知しない場合があります。
・確実に固定しないと誤作動の原因となります。
・エアバックの作動に影響のない場所へ取付けてください。
・運転の妨げにならない場所へ取付けてください。

（例：コラム裏側・ダッシュボード上。）

取付け手順7（フラッシャーユニットの固定）

フラッシャーユニットを両面テープを使い、ダッシュボード等、車外から見えやすい場所へ確実に固定する。

（例：この部分に取付けます。）

注意

・確実に固定しないと誤作動の原因となります。
・エアバックの作動に影響のない場所へ取付けてください。
・運転の妨げにならない場所へ取付けてください。
・フラッシャーランプ部を車外へ向けて取付けてください。

取付け手順8（アンテナの配線）

4Pコネクターからでているアンテナ線（黒）を車外から見えやすい場所へ配線してください。
※アンテナ線をダッシュ・パネル等の裏側へ収納するとリモコンの飛距離が短くなります。

例：この部分に取付けます。）

注意

・車の金属部にアンテナ線が触れる様な配線をするとリモコンの飛距離が短くなります。
・運転の妨げにならない場所へ配線してください。

■リモコンについて

●日常生活防水

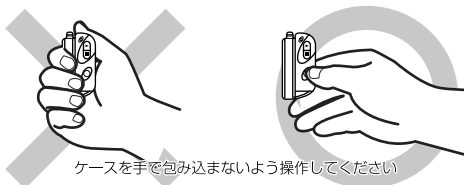
守護神（SS-100）のリモコンは、日常生活防水加工が施されています。雨や水滴等がかかったり、雪の上等に落としても安心してご使用いただけます。

⚠ **注意** 以下のような場合は、日常生活防水としての役割を果たしません。

・**水没した場合。**
（ポケットの中に入れたままの洗濯、水のなかへの落下等）

・**雨水や雪が当たる場所へ長時間放置した場合。**
・**電池カバーが確実に閉まっていない場合。**

●リモコンの操作

リモコンを操作する時は、電波の送受信性を安定させる為に下記の様に操作してください。
アンテナは固定式です。無理に引っぱったりしないでください。

ケースを手で包み込まないよう操作してください

⚠ **注意** ・リモコンは、一度電波を出力すると、その後2秒間は電波を出力できません。
・リモコンで操作できる距離が短くなったら、早めに新しい電池と交換してください。
・指定の電池（CR2016）以外は使用しないでください。
・Be-Time　A-03のリモコンと守護神のリモコンを同時には使用しないでください。

●電池交換について

電池の交換は、図の手順にしたがって⊕・⊖の向きを間違えないよう入れてください。

1.電池カバーをコイン等で開けます。	**2**.新しい電池（CR2016）を、2個とも⊕を上にして入れます。	**3**.電池カバーをコイン等で確実に閉めます。	⚠ 注意 **電池を＋電極の下へセットしてください。**

●リモコンを破損・紛失した場合

リモコンを破損・紛失した場合は、販売店へ修理のご依頼・ご相談をしてください。又、修理不能もしくは紛失された場合は、新たにリモコンをご購入いただく事になりますが、その場合商品のロットナンバーが必要になります。必ず、商品ロットナンバーを保証書に記入しておいてください。
※下記記入欄にも、あらかじめ記入しておいてください。
　ロットナンバーはリモコン裏面・メインユニット裏面に記載してあります。

リモコンロットナンバー. ______________________

■電圧検出/振動調整ボリューム

■電圧検出の設定

電圧検出とは・・・エンジン停止後、イグニッションキーを抜いた後にドアオープン（ルームランプ点灯）等があった場合に発生する電圧変化を検出し、警告を行う。

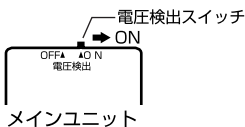
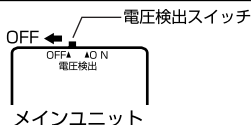
◆「監視モード」中に下記機能の操作を行うと、車両の電圧変化を検出し、警告を行う場合があります。必ず、「監視モード」停止中に操作を行ってください。

リモコンドアロック／キーレスエントリーシステム
リモコントランクオープナー／リモコンパワーウインド／リモコンドアミラー
電子制御式集中ドアロック

◆「監視モード」中に下記の機能が動作すると、車両の電圧変化を検出し、警告を行う場合があります。そのような時は、電圧検出をオフにしてご使用ください。

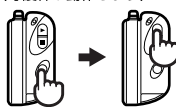
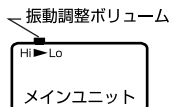
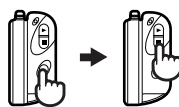
クーリングファン（エンジン停止後に作動するタイプ）
自動室内換気装置（エンジン停止後に作動するタイプ）
その他、エンジン停止後に作動する電装品が取付けされている場合（純正品も含む）。

a　電圧検出を使用する。
・メインユニットの電圧検出スイッチをONにする。

⚠ 注意
・ドアオープン時に警報を行うには、ルームランプを点灯する様設定しておく必要があります。
・ドア内側にドアオープンランプがある場合は、ルームランプがOFFでも電圧検出機能は作動する場合があります。

b　電圧検出を使用しない。
・メインユニットの電圧検出スイッチをOFFにする。

■振動調整ボリューム

振動調整ボリュームとは・・メインユニット内の内部振動センサーの調整を行います。

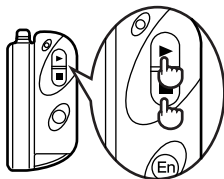
● 振動調整ボリュームの調整方法
※必ずメインユニットを車両に取付けてから調整を行ってください。

リモコンのエントリースイッチを押してLEDが点滅中にスタートスイッチを押してください。（守護神が動作します）	車両のボディを軽くたたいて、ホーンが鳴る（フラッシャーユニットがフラッシュする）よう感度を調整してください。 ・ボリュームを「Hi」側へまわすと感度が敏感になります。 ・ボリュームを「Lo」側へまわすと感度が鈍感になります。	リモコンのエントリースイッチを押してLEDが点滅中にストップスイッチを押してください。

■各モードについて

■守護神（SS-100）には、下記3種類のモードがあります。

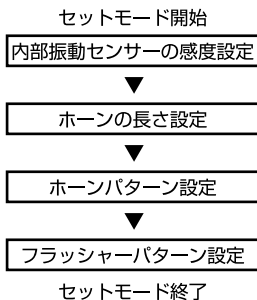
1.セットモード

内部振動センサー感度設定・ホーンの長さ設定・ホーンパターン設定・フラッシャーパターン設定を行う時に使用します。

・守護神（SS-100）が停止している状態で、リモコンのスタートスイッチとストップスイッチを同時に押すと「セットモード」になります。
・「セットモード」中リモコンのスタートスイッチとストップスイッチを同時に押すごとに設定項目が変わります。
注意　「Be-Time・A-03」のリモコンでは、「セットモード」の設定は行なえません。

スタート／ストップを同時に押すごとに
設定項目が変わります。

セットモード開始

内部振動センサーの感度設定
▼
ホーンの長さ設定
▼
ホーンパターン設定
▼
フラッシャーパターン設定

セットモード終了

2.監視モード

本体の電源がONで、盗難監視状態です。
LEDフラッシャーが動作し、車体衝撃・電圧変化を監視します。

・リモコンのエントリースイッチを押し、LED点滅中（約2秒間）にスタートスイッチを押すと「監視モード」になります。（P19）
・「監視モード」中に車体衝撃・電圧変化を感知すると、「警報モード」に切り替りホーンとLEDフラッシャーで警告を行います。
・「監視モード」中にエンジンスターターが作動した時は、フラッシャーユニットのみ動作しますが、「監視モード」は解除されます。（衝撃・電圧変化があっても警告しません。）
・ターボタイマー動作中に「監視モード」を開始した場合は、フラッシャーユニットのみ動作し、ターボタイマー停止後（エンジン停止後）「監視モード」が開始されます。

3.警報モード

「監視モード」時に衝撃・電圧変化を感知して、警告（ホーン・超高輝度LEDフラッシュ）を行っている状態です。※超高輝度LEDフラッシュのみの警告も可能です。

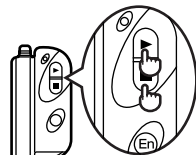
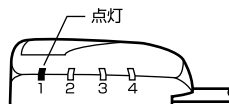
・単発的な衝撃を検出した場合、ホーンを3回鳴らして警告します。
・連続的な衝撃（振動）を検出した場合、衝撃がなくなるまでホーンを3回鳴らします。
（最大10セット）
・電圧変化を検出した場合、ホーンを20秒間鳴らして警告します。
・オプション（拡張振動センサー・トランクセンサー）が作動した場合も「警報モード」になります。

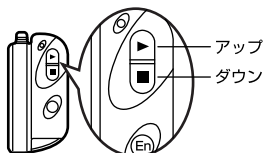
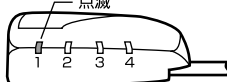
■セットモード・内部振動センサー

■内部振動センサーの設定

メインユニット内にある、振動センサーの感度を調整します。
感度調整は4段階あり、メインユニットの取付位置・車種・使用場所等に合わせて最適な感度を設定してください。
工場出荷時は、非常に敏感に設定されています。

1 車のイグニッションキーを抜いて、パーキングブレーキを確実にかけてください。

2 守護神（SS-100）の電源が切れている状態で、リモコンのスタートスイッチとストップスイッチを同時に押してください。

スタートスイッチとストップスイッチを同時に押す。

モニターランプ-1が点灯します。

3 リモコンのスタート／ストップスイッチで、内部振動センサーの感度を設定してください。

モニターランプが点滅します。
1〜4で設定してください。

モニターランプ 1 2 3 4	感度レベル
■ □ □ □	非常に敏感
□ ■ □ □	やや敏感
□ □ ■ □	やや鈍感
□ □ □ ■	非常に鈍感

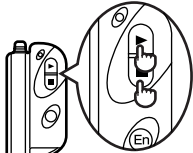
4

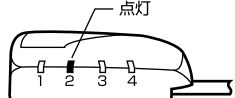
・続けてホーンの長さ設定を行う場合

リモコンのスタートスイッチとストップスイッチを1回同時に押してください。

※モニターランプ-2が点灯します。

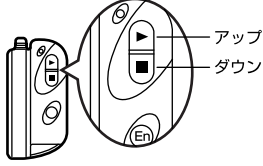
・「セットモード」を終了する場合

リモコンのスタートスイッチとストップスイッチを4回同時に押してください。

※モニターランプが全て消灯すれば「セットモード」終了です。

■セットモード・ホーンの長さ設定

■ホーンの長さ設定

・警告時に鳴るホーンの長さを設定します。
・P15「内部振動センサーの設定」を行ってから操作してください。
・工場出荷時は、短い（0.2秒）に設定されています。

1

・モニターランプ-2が点灯しているか確認してください。
※モニターランプ-2が点灯していない場合、リモコンのスタートスイッチとストップスイッチを同時に押してください。

スタートスイッチとストップスイッチを同時に押す。

モニターランプ-2が点灯します。

2 リモコンのスタート／ストップスイッチで、ホーンの鳴る長さを設定してください。

モニターランプが点滅します。
1～4で設定してください。

モニターランプ 1 2 3 4	ホーンの長さ
■□□□	短い（約0.2秒）
□■□□	ふつう（約0.5秒）
□□■□	長い（約1秒）
□□□■	オート（衝撃によって変化）

※ホーンの長さをオートに設定時、衝撃の強さによって約0.2～1秒間で、ホーンの鳴長さを変化させます。

3

・続けて「ホーンパターン設定」を行う場合

リモコンのスタートスイッチとストップスイッチを1回同時に押してください。

※モニターランプ-3が点灯します。

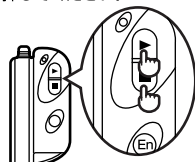
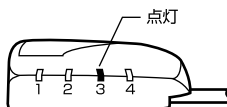
・「セットモード」を終了する場合

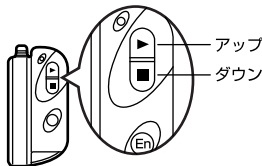
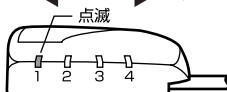
リモコンのスタートスイッチとストップスイッチを3回同時に押してください。

※モニターランプが全て消灯すれば「セットモード」終了です。

■ホーンパターン設定

・「監視モード」スタート／ストップ時にホーンを鳴らすか、鳴らさないかを選択します。
・「警報モード」時に警報用ホーンを鳴らすか、鳴らさないかを選択します。
・P16の「ホーンの長さ設定」を行ってから操作してください。
・工場出荷時は、「監視モード」スタート／ストップ・「警報モード」時にホーンが鳴るように設定されています。

1 ・モニターランプ-3が点灯しているか確認してください。
※モニターランプ-3が点灯していない場合、リモコンのスタートスイッチとストップスイッチを同時に押してください。

スタートスイッチとストップスイッチを同時に押す。

モニターランプ-3が点灯します。

2 リモコンのスタート／ストップスイッチで、ホーンパターン設定をしてください。

モニターランプが点滅します。
1～4で設定してください。

モニターランプ 1 2 3 4	ホーンパターン
■ □ □ □	「監視モード」スタート／ストップ時（0.2秒）、及び「警報モード」時に鳴る。
□ ■ □ □	「監視モード」スタート／ストップ時（0.4秒）、及び「警報モード」時に鳴る。
□ □ ■ □	「監視モード」スタート／ストップ時鳴らない・「警報モード」時に鳴る。
□ □ □ ■	「監視モード」スタート／ストップ時、及び「警報モード」時鳴らない。

※ホーンの種類によっては、0.2秒（1）ではホーンが鳴らない場合があります。その場合0.4秒（2）に設定してご使用ください。

3 ・続けて「フラッシャーパターン設定」を行う場合

リモコンのスタートスイッチとストップスイッチを1回同時に押してください。

※モニターランプ-4が点灯します。

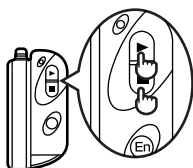
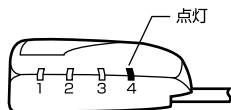
・「セットモード」を終了する場合

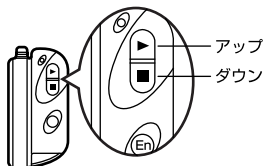
リモコンのスタートスイッチとストップスイッチを2回同時に押してください。

※モニターランプが全て消灯すれば「セットモード」終了です。

■フラッシャーパターン設定

・「監視モード」中、超高輝度LEDの動作パターンを設定します。
・「スウィング」「フラッシュ」「点滅」「ランダム点灯」の4パターンから設定できます。
・P17の「ホーンパターン設定」を行ってから操作してください。
・工場出荷時は、「スウィング」に設定されています。

1 ・モニターランプ-4が点灯しているか確認してください。
※モニターランプ-4が点灯していない場合、リモコンのスタートスイッチとストップスイッチを同時に押してください。

スタートスイッチとストップスイッチを同時に押す。

モニターランプ-4が点灯します。

2 リモコンのスタート／ストップスイッチで、フラッシャーの動作パターンを設定してください。

モニターランプが点滅します。
1～4で設定してください。

モニターランプ 1 2 3 4	フラッシャーのパターン
■□□□	スウィング　（LEDの光が左右に流れる様に光る）
□■□□	フラッシュ　（LEDが4個同時にフラッシュを行う）
□□■□	点滅　（LEDが4個同時に点滅する）
□□□■	ランダム点灯（LEDが1つランダムに点灯する）

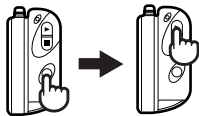
3 ・リモコンのスタートスイッチとストップスイッチを同時に押してください。
モニターランプが全て消灯し、「セットモード」が終了します。

■盗難警報機能について

●盗難警報機能（監視モード）をスタートさせます。

※「監視モード」スタート時ホーンが鳴る様設定してある場合、ホーンが1回鳴ります。

守護神（SS-100）のリモコンの場合

1.エントリースイッチを押し、LEDが点滅中にスタートスイッチを押します。

※フラッシャーユニットが作動し、「監視モード」がスタートします。

※「監視モード」時に再度リモコンでスタート信号を送信すると、車のホーンが鳴ります。

Be-Time　A-03のリモコンの場合

1.リモコンのスタートスイッチをLEDが点灯するまで押します。

※「監視モード」時に再度リモコンでスタート信号を送信すると、車のホーンが鳴ります。

※フラッシャーユニットが作動し、「監視モード」がスタートします。

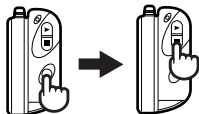
※･アラーム音が｢ピー｣と2秒間鳴り電波を送信します。
･A-03本体が電波を正常に受信すればアラーム音が｢ピー･ピー｣と2秒間鳴ります。
･A-03本体が電波を受信していない場合､アラーム音が｢ピリッ･ピ･ピ｣と鳴ります。

※A-03のリモコンは､電波送信出力が10mWの為､電波法により付近に同一周波数帯の電波がある時は､送信できません。
（アラーム音が｢ピリッ･ピ･ピ｣と鳴ります。）

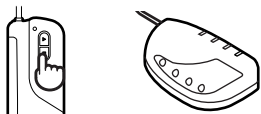
●盗難警報機能（監視モード・警報モード）をストップさせます。

※「監視モード」「警報モード」ストップ時ホーンが鳴る様設定してある場合、ホーンが2回鳴ります。

守護神（SS-100）のリモコンの場合

1.エントリースイッチを押し、LEDが点滅中にストップスイッチを押します。

※フラッシャーユニットが停止し、「監視モード」「警報モード」がストップします。

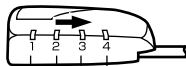
Be-Time　A-03のリモコンの場合

1.リモコンのストップスイッチをLEDが点灯するまで押します。

※フラッシャーユニットが停止し、「監視モード」「警報モード」がストップします。

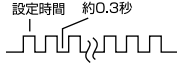
※･アラーム音が｢ピー｣と2秒間鳴り電波を送信します。
･A-03本体が電波を正常に受信すればアラーム音が｢ピー･ピー｣と2秒間鳴ります。
･A-03本体が電波を受信していない場合､アラーム音が｢ピリッ･ピ･ピ｣と鳴ります。

※A-03のリモコンは､電波送信出力が10mWの為､電波法により付近に同一周波数帯の電波がある時は､送信できません。
（アラーム音が｢ピリッ･ピ･ピ｣と鳴ります。）

■操作一覧表

●セットモード操作一覧

フラッシャーパターン設定	
1	スウィング
2	フラッシュ
3	点滅
4	ランダム点灯

ホーンパターン設定	
1	スタート・ストップ（0.2秒）／警報時　鳴る
2	スタート・ストップ（0.4秒）／警報時　鳴る
3	スタート･ストップ時鳴らない／警報時　鳴る
4	スタート・ストップ／警報時　鳴らない

ホーンの長さ設定	
1	短い　（約0.2秒）
2	ふつう（約1秒）
3	長い　（約2秒）
4	オート（衝撃の強弱で変化）

内部振動センサーの感度設定	
1	非常に敏感
2	やや敏感
3	やや鈍感
4	非常に鈍感

●盗難警報操作一覧※守護神（SS-100）のリモコンの場合

・監視モードスタート ・監視モード中ホーンを鳴らす。	En エントリースイッチを押す。 ▶ スタートスイッチを押す。	↓ 2秒以内
・監視モードストップ ・警報モードストップ	En エントリースイッチを押す。 ■ ストップスイッチを押す。	↓ 2秒以内

■警報パターン一覧表／製品仕様

●警報パターン一覧表

車両への衝撃を検出した時 （単発的な衝撃）	フラッシャー	約4秒～6秒間フラッシュを行う。 ※ホーンの長さ設定によりかわります。
	ホーン	設定時間　約0.3秒 設定時間×3回
車両への衝撃を検出した時 （連続的な衝撃）	フラッシャー	最大約40秒～60秒間フラッシュを行う。
	ホーン	設定時間　約0.3秒 最大で、 設定時間×30回
車両への電圧変化を検出した時	フラッシャー	約20秒間フラッシュを行う。
	ホーン	設定時間　約0.3秒 約20秒 約20秒間ホーンを 鳴らす

●製品仕様

◆送信機（リモコン）

・技術基準　微弱電波
・送信周波数　310MHz帯
・電波形式　P1D
・定格電圧　DC6V
・動作温度範囲　-20℃～+60℃
・使用電池　CR2016×2個
・ケース寸法　31×62×15.5mm

◆受信機（メインユニット）

・受信方式　SRG
・受信周波数　310MHz帯
・定格電圧　DC12V
・消費電流　待機時約　平均10mA
　　　　　　警報時約　0.7～1A
・動作温度範囲　-20℃～+80℃
・ケース寸法　90×20×72mm

◆表示機（フラッシャーユニット）

・動作温度範囲　-20℃～+80℃
・ケース寸法　60×35×17mm